

株式会社ノーティス

解析しやすいドライブレコーダー
システムで事故削減海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応

ドライブレコーダーと車載カメラ

主な事業内容

画像解析しやすいドライブ
レコーダシステムの設計、開発、販売

主な取引先(納入先)

物流企業、石油元売り企業、
損害保険会社、警察、消防、銀行など

主な製品

リスク分析型ドライブレコーダー
関連製品、リスク調査・講習サービス業務
内容
ドライブレコーダー開発と
リスク調査の二本柱

ドライブレコーダシステムの設計・開発や販売を手がける。撮影した映像に独自の画像処理を施しデータ量を少なくすることで、画像を解析しやすくしているのが特徴だ。交通事故の原因究明の手がかりとして、警察、消防、物流業界などに販路を拡大。ハードウェアの製造は台湾メーカーへ委託し、経営資源をシステム開発などに集中させている。

ハードやソフトの提供だけでなく、運転に関するリスク調査や講習会も展開する。ドライブレコーダーの映像をドライバー本人に確認してもらい、事故につながるやすい運転のクセなどを指摘した報告書を提供。交通事故削減に向けた啓発活動も続ける。

強み
データ量を圧縮しつつ
解像度も維持

ドライブレコーダーの録画には、常に記録する「常時録画」と、交通事故の発生時のみ起動する「イベント録画」の2種類がある。事故原因を究明する際は、イベント録画の映像を中心に解析するのが一般的だ。

だが「ノーティス」は、ドライバー

社長あいさつ

代表取締役社長
のびひろ
工藤 暢啓さん

事故削減に必要なのは、ドライバーが自分の意識と実際の行動のギャップに気付くこと。リスクを見える化する手段の一つとして、ドライブレコーダーを提案しています。今後は調査や講習の事業を部分的に代理店に委託するなどして、営業エリアを全国レベルに拡張する計画です。

主な保有設備

■ ソフトウェア開発用の
パソコン 3台

今後の
展望
タイヤの空気圧など
映像以外のデータも併せて保存

工藤暢啓社長は「交通事故のリスク低減にはその人の持つ『習慣』に気付くことが大事だ」と指摘。常時録画映像を解析する重要性を訴える。平成27年に前身となるドライブレコーダー製造・販売会社の事業を引き継ぐ形で創業。以来、ハードやソフトの販売だけでなく、講習会などのサービス事業も拡大してきた。

今後はタイヤの空気圧や保冷庫の室温など、映像以外のデータも一緒に保存する機能拡張を進め、解析の幅を拡大させる。将来的にはAI（人工知能）も活用し、解析作業の負担軽減も進める方針。売上高を令和6年7月期までに現在の約2倍の1億円に高める計画だ。

の「習慣」の分析が重要だとする観点から、常時録画の解析にも重きを置く。ただ常時録画は通常、データ量を少なくして長時間記録できるようにするために解像度を落として録画するので、十分に解析できないという課題があった。そこでデータ量を圧縮しつつ、画像解析に必要なレベルの解像度を維持できる独自技術を開発。これまで見落とされがちだった運転習慣も解析しやすくしている。



録画映像を分析したレポート



ドライバー向け講習会の様子

大阪
01

住 所／〒570-0012
守口市
大久保町1-40-4
T E L／06-6916-8520
F A X／06-6916-8521
創 業／平成27年8月
設 立／平成27年8月
資本金／50万円
従業員／一



<http://www.lunadr.com/>